

栗高だより



発行：栗山高等学校
令和元年5月23日
第 7 号

北海道栗山高等学校支援補助金 栗山町が栗山高校を支援

急速に生徒減が進む空知管内において、栗山高校でも入学生の確保が喫緊の課題となっています。栗山町においては、平成30年度中学卒業生の8割が、岩見沢や札幌方面の高校に進学しています。栗山高校は、進学・就職とも100%進路実現しています。また、部活動においても生徒の活躍で、優秀な成績を収めています。しかし、生徒数減少に歯止めがかからない状況です。今年度、入学生が1学年2クラス維持に必要な41名を割り33名でした。このままでは、近い将来、栗山高校の廃校もあり得る危機的な状況です。栗山高校が無くなった場合、昼間は町から高校生がいなくなり、町の活気が少なからず失われるとともに、高校の様々な発注や、高校に関連する税収などがなくなり、経済的にも町にとって損失です。さらに、町外に通学する場合、交通費等で、保護者の皆様の負担が増します。また、通学時間が、高校生の貴重な時間を減らします。これらのことから、町に高校があることの重要性を御理解いただけることと存じます。

今年度より、栗山高校は、栗山町から高校存続に向けた魅力ある学校づくりのための新たな支援をいただくこととなりました。昨年度までは、高校生資格取得支援補助金として、英語検定や簿記検定など資格取得のための検定料の半額を支援していただいておりますが、これからは、それに加えて、進学・公務員模試の受験料の半額の支援、部活動大会派遣費用の半額の支援、オーストラリア海外研修事業「少年ジェット希望の翼」（自己負担金6万円でその他旅費については町が負担する。）の栗高生枠（2名）の設定、学習支援ソフトの導入が新に支援に加わりました。これらの支援を決定していただきました栗山町並びに貴重な税金の一部をいただいております栗山町民の皆様には深く感謝申し上げます。栗山高校一丸となって、栗山高校の魅力化に取り組んでまいります。

北海道栗山高等学校長 高橋尚紀

高体連、高野連、高文連の空知支部大会始まる。 空知支部予選壮行会開催

5月15日水曜日、高体連、高野連、高文連の空知支部大会に出場する部活動を応援するため壮行会が行われました。吹奏楽局の華やかなマーチの演奏をバックにバスケットボール部、テニス部、弓道部、野球部、サッカー部、書道部、美術部、水泳の順で選手が入場しました。校長挨拶のあと、生徒会長の大野さんから皆で応援していますとの挨拶があり、引き続き、各部から決意表明がありました。選手宣誓は、サッカー部の土門君と弓道部の田村さんが大役を担いました。最後に書道部の生徒が書いた応援の「垂れ幕」が披露されました。



校歌斉唱



生徒会長挨拶



テニス部



野球部



サッカー部



書道部



美術部



選手宣誓



垂れ幕披露